

「伊賀市民を対象とした生活習慣病に関するゲノムコホート研究：伊賀市コホート研究、及び、日本多施設共同コホート研究（J-MICC Study）」（伊賀市コホート研究）にご参加の方へ

当講座では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

2025年6月より、伊賀市コホート研究（2013年3月から2014年7月まで伊賀市健診センター（三重県伊賀市）にて実施）に参加された方々の血液検体を下記の様に研究利用させて頂く予定です。そのことについて、対象となる参加者の皆様から直接同意を得ていないため、研究内容の情報を公開し、結果の公開について拒否できる機会を与えることが求められています。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

|              |                                                                                                                                                     |
|--------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 研究課題名        | 「膵がん・胆道がんのリスク要因としての遺伝子多型と生活習慣との相互作用解明のための症例対照研究」                                                                                                    |
| 研究機関名        | 愛知医科大学                                                                                                                                              |
| 研究機関の長       | 医学部長 笠井 謙次                                                                                                                                          |
| 担当科等         | 公衆衛生学講座                                                                                                                                             |
| 研究責任者        | 教授（特任） 林 櫻松                                                                                                                                         |
| 研究分担者名       | 教授 菱田 朝陽、講師 川合 紗世、講師 篠壁 多恵、助教 景山 斎                                                                                                                  |
| 研究の意義・目的     | 本研究は、膵がん、胆嚢がんの発症に関わる遺伝子の個人差（主に一塩基多型に注目）を調べるとともに、膵がん・胆道がんの患者さんの血液中で濃度が変動するバイオマーカーを調べることを目的としています。研究成果は、膵がんや胆道がんにかかりやすい方の早期発見や予防につながると期待できます。         |
| 対象となる方       | 伊賀市コホート研究（2013年3月から2014年7月まで伊賀市健診センター（三重県伊賀市）にて実施）に参加された、当時35-69歳の皆様                                                                                |
| 研究の方法        | 膵がん、胆嚢がんの早期診断に役立つ血液（血清・血漿）中のSDF-4、GP2、CA19-9等のバイオマーカーを、酵素免疫法（ELISA法）で調べます。<br>※研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧することが可能です。入手・閲覧を希望する場合は、以下の問い合わせ先までご連絡ください。 |
| 研究期間         | 研究実施承認日 ～ 2027年3月31日                                                                                                                                |
| 研究に用いる試料・情報  | 試料：血液（血清、血漿）<br>情報：がん罹患の有無                                                                                                                          |
| 外部への試料・情報の提供 | 全ての測定・解析は、愛知医科大学医学部公衆衛生学講座内で行います。                                                                                                                   |
| その他          | 上記の測定・解析を希望しない方は、いつでも下記問い合わせ先まで申し出てください。                                                                                                            |

|              |                                                                                 |
|--------------|---------------------------------------------------------------------------------|
| 研究に関する問い合わせ先 | 愛知医科大学医学部公衆衛生学講座 林 櫻松<br>〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1<br>電話 0561-62-3311（内線 12374） |
|--------------|---------------------------------------------------------------------------------|